

目次

- 2 **巻頭エッセイ**
コミュニカティブな中国語を
身につける第一歩
- 4 **過去問に学ぶ**
4級・3級語順選択・整序問題の解き方(三)
- 6 **語彙をふやそう**
動物(一) 哺乳類
- 8 **看图学慣用語**
絵で見る慣用語(8)
- 10 **紛らわしい文法表現**
“开始V”と“V起来”
- 12 **成語の話**
2015年度に出題された成語
- 14 **新しいことばと古いことば**
「…さん」に相当する中国語の呼称は？
- 15 **読者の広場**
異文化と多様性
一目白大学中国語学科の取り組み一

発行 一般財団法人日本中国語検定協会

本誌掲載の記事、写真、イラスト等を無断で複製・
複写・転載することを禁じます。

コミュニケーションな中国語を身につける第一歩

日本中国語検定協会評議員・北海道大学 清水賢一郎

数年前の話ですが、中学生になった娘に英語の教科書を見せてもらって驚いたことがあります。かつて自分が習ったときと、ずいぶん様変わりしていたからです。おおざっぱな印象で言えば、文法から会話中心へ。文法を順繰りにシコシコ学ぶ形から、ストーリー性のある会話を軸に、文法事項は会話に出てきたものをその都度とりあげる方式に変わっていました。なるほどコミュニケーション（コミュニケーション指向の）英語運用能力をと喧伝されていたのはこういうことかと、遅まきながら合点がいったわけですが、その波はまもなく中国語教育の世界にも押し寄せてきました。実際、学生たちの声を聞いても「会話したい」「話せるようになりたい」が大多数。もとより言葉はコミュニケーションのためにあるわけで、その点こちらも異論はない。それで、少しずつ授業を工夫してきました。

対話型の授業を模索する中では、まずはインプット、具体的には教科書が重要であること、言うまでもありません。それと同時にアウトプット、実際に発話してみることも不可欠です。ただ、政府の文教政策で教育予算がますます削減されつつある昨今、人件費カットで教員数は抑えられ、大人数での教室運営を強いられる中ではコミュニケーション指向も容易ではありません（こういう部分はなかなかグローバル標準が採用されないのが困ったところ）。いやまあ、学生どうして会話練習させたりするのは簡単な話で、彼らも楽しそうに練習するにはするのですが、一見活気あるアクティブラーニング（最近の文教政策のキーワードはこれです）も、いざテストしてみると、問題点が浮かび上がってきます。

対話を重視した授業ですから、当然テストも対話型とすべき。そこで、Q&Aの問題を出しました。いわゆるリスニング問題の形式で、中国語で質問し、自分のことを答える。本来であれば学生一人ひとりに口頭で答えてもらいたいのですが、クラス全員がワッと答えても採点不能（将来ICTの発達で実現しないかと夢見ていますが当面は難しいでしょうか）。仕方なく、質問は耳で聞くが、答えは口ではなく紙に書いてもらう方式で実施しました。

你有兄弟姐妹吗？

この質問に対し、“对，我有弟弟。”みたいに答える者が時々（けっこう）いる。もちろんご本人は「はい、私には弟がいます」と答えたつもりなのです。しかし、残念。間違いです。“对”ではなく、“有”と答えなければいけません。

“对”はYesと同じだと思っている人、意外に多いみたいですが、そうではないということです。試しに漢英辞典をひいてみてください（ネット上のオンライン辞書でも可）。“对”の意味、いろいろ説明が書いてありますが、どこにもyesとは出て来ません。あらためて確認しておけば、質問に答えるときの“对”はrightとか

correctの意で、「正しい」とか「そのとおり」ということです。

今天晚上我去看电影，你去吗？

「今夜映画見に行くんだけど、いっしょに行く？」と聞かれて、「正しいです（そのとおりです）」と答えるのはオカシイでしょう。それと同じで、上の問いに“対”と答えてはチグハグ。“去”とか“不去”と答えるのが正解なわけです。

中国語のQ&Aは、投げかけられた質問文の、述語の部分（動詞、形容詞、助動詞）をそのまま投げ返す。「行く？」と聞かれて→「行く」と答える。オウム返しの基本です。もちろん否定で答える場合は否定形にしますが、その場合も飛んで来た質問の、メインの述語部分をそのまま否定形にするだけ。単純明快。実にシンプル。

你要咖啡吗？（コーヒーいる？） → 要/不要。（いる/いない）

你会滑雪吗？（スキーできる？） → 会/不会。（できる/できない）

语法难吗？（文法は難しい？） → 难/不难。（難しい/難しくない）

你有词典吗？（辞書持ってる？） → 有/没有。（持ってる/持っていない）

你是中国人吗？（中国人ですか？） → 是/不是。（[そう]です/ではない）

問いの核心を受けとめ、そのまんま投げ返す。まさに言葉のキャッチボールです。

では、英語のQ&Aはどうか？ 私は「○×クイズ式」と呼んでいるのですが、回答者の手元にあらかじめ○（Yes）と×（No）の札かボタンが用意されていて、質問されたら○か×で答える。「行く？」と聞かれても「持ってる？」と聞かれても答えは常にYesかNoで処理。これもまたシンプルですけど、その発想はずいぶん違います。どんな球が飛んできて○か×で打ち返す英語に対し、相手の言葉をそのまま活かす、リサイクル型の中国語。英語と中国語とでは、コミュニケーションの基本姿勢というか大前提が異なっているわけです。

ところで、キャッチボールって、ボールを受け取って投げ返すだけで、お世辞にも生産的とは言い難い。でも、やっている本人たちは、みんなニコニコ、なんだかうれしそうですね。それは、まさにコミュニケーションの本質が凝縮された遊びだからではないかと思えます。確かに何も生み出さないけれども、ボールをキャッチした瞬間、グラブがバシーン！と快音を立てる。グッと重みをもった手ごたえがある。ちょうど赤ちゃんを抱きとめる母親の笑顔みたいに、自分をまるごと受けとめてくれる存在（相手）の確かさ——これこそがコミュニケーションの根幹をなすものだからです。（情報の伝達なんていうのは二の次。人と人のやりとりは、やりとりそれ自体のために行われます。LINEとか、ほとんどそうじゃないですか？）

そういえば中国式の挨拶に、相手の名前を呼ぶだけというのがありますね。以前北京で教えていたとき、よく建物の入口で“清水老师！”と呼ばれましたが、べつに相手は用があるわけではなく、単なる挨拶というのが普通です。こちら相手の名前を呼び返せばOKで、いわばキャッチボール式の究極形でしょうか。

コミュニケーション中国語への第一歩は、キャッチボール式の呼吸を身につけるにあり。まずは笑顔で（これ、大切！）相手の名前を呼ぶことから始めましょう。（というところで紙幅が尽きました。第2ステップは、またの機会に。后会有期！）

4級・3級語順選択・整序問題の解き方(三)

『中国語の環』編集室

第86回、第87回に続き、第88回の問題のポイントを解説します。

【4級】第88回（2016年3月）

(1)彼はきのう先生に叱られた。

他昨天被老师批评了。Tā zuótiān bèi lǎoshī pīpíng le.

ポイント 「…に…される」という受け身の表現には、介詞“被”を用います。

(2)このジュースはあのジュースよりおいしい。

这个果汁比那个好喝。Zhège guǒzhī bǐ nàge hǎohē.

ポイント 「…より…だ」という比較の表現には、介詞“比”を用います。

(3)あしたは少し早く来てください。

明天请早点儿来。Míngtiān qǐng zǎodiǎnr lái.

ポイント 「…してください」という依頼の表現には、動詞の前に“请”を用います。「少し早く」という意味の“早点儿”は動詞“来”の前に置きます。

(4)わたしはここで本を読みたくない。

我不想在这儿看书。Wǒ bù xiǎng zài zhèr kàn shū.

ポイント 「ここで本を読む」ことをしたくないと言うのですから、“在这儿看书”の前に“不想”が来ます。

(5)わたしも一度香港に行ったことがある。

我也去过一次香港。Wǒ yě qùguo yí cì Xiānggǎng.

ポイント 動作の回数や時間を表す語は、通常、動詞と目的語の間に置きます。

(6)彼女は今年日本に来たばかりです。

她今年刚来日本。Tā jīnnián gāng lái Rìběn.

ポイント 「…したばかり」という副詞“刚”は、動詞“来”の直前に置きます。

(7)あのDVDはもう売っていません。

那个DVD已经不卖了。Nàge DVD yǐjīng bú mài le.

ポイント 「もう…していない」は「“已经” + “不” + 動詞 + “了”」です。

(8)中国の高鉄（高速鉄道）は日本の新幹線とほぼ同じです。

中国的高铁和日本的新干线差不多。

Zhōngguó de gāotiě hé Rìběn de xīngànxiàn chàbuduō.

ポイント 「…とほぼ同じだ」は「“和・跟” … “差不多”」です。

(9)学校は海からとても近いです。

学校离海很近。Xuéxiào lí hǎi hěn jìn.

ポイント A B二点間の隔たりをいうには、“A离B…”の形を用います。

(10)みんなは彼女のやり方はなかなかよいと言った。

大家都说她的办法不错。Dàjiā dōu shuō tā de bànfǎ búcuò.

ポイント 「…であると言う」は“说…”で表します。“都”は動詞の直前に。

【3級】第88回（2016年3月）

(1)この種のものはあの店で買うのが一番安い。

这种东西在那家店买最便宜。Zhè zhǒng dōngxi zài nà jiā diàn mǎi zuì piányi.

ポイント 「あの家で買う」は、介詞フレーズ“在那家店”を“买”の前に用いて、“在那家店买”とし、そのあとに述語“最便宜”を置きます。

(2)わたしは来月の試験の準備をしなければならない。

我得准备下个月的考试。Wǒ děi zhǔnbèi xià ge yuè de kǎoshì.

ポイント 助動詞“得”は主語“我”の後ろ、動詞“准备”の前に置きます。

(3)この料理は少しも辛くない。

这个菜一点儿也不辣。Zhège cài yìdiǎnr yě bú là.

ポイント 「少しも…でない」は、“一点儿也不…”という語順で表します。

(4)彼女はきっと卒業旅行に参加するだろう。

她一定会参加毕业旅行的。Tā yíding huì cānjiā bìyè lǚxíng de.

ポイント 「…するだろう」は“会…的”，「きっと」の意味の“一定”はその前に置きます。

(5)飛行機の中でもインターネットができるそうだ。

听说飞机上也可以上网。Tīngshuō fēijī shàng yě kěyǐ shàngwǎng.

ポイント 「飛行機の中でも」の“飞机上也”を“可以上网”の前に置きます。

(6)今年の夏は去年よりずっと暑い。

今年的夏天比去年热多了。Jīnnián de xiàtiān bǐ qùnián rè duō le.

ポイント 「去年より暑い」は“比去年热”，「ずっと…だ」の意味の“多了”はその後ろに置きます。

(7)わたしは財布を盗まれた。

我的钱包被偷了。Wǒ de qiánbāo bèi tōu le.

ポイント 受け身を表す介詞“被”のあとにくる行為者が省略されています。

(8)横からまた車が現れた。

旁边又出现了一辆汽车。Pángbiān yòu chūxiànle yí liàng qìchē.

ポイント 存現文として動詞“出现”を先に，“一辆汽车”をその後ろに。

(9)わたしはずっとあなたが彼女を知っていると思っていた。

我一直以为你认识她。Wǒ yìzhí yǐwéi nǐ rènshi tā.

ポイント “以为”が述語動詞で，“你认识她”がその目的語です。「ずっと」の意味の副詞“一直”は動詞“以为”の前に置きます。

(10)部屋の中の要らないものを捨ててしまいなさい。

把屋子里不要的东西都扔了吧。Bǎ wūzi li bú yào de dōngxi dōu rēngle ba.

ポイント 介詞“把”を用いて“屋子里不要的东西”を文頭に引き出します。

動物(一) 哺乳類

『中国語の環』編集室(U)

動物のうち、哺乳動物を思いつくままに掲げる。まだまだあるに違いないが、主なものはこんなところか。雌雄の区別には、通常“雄”(xióng)と“雌”(cí)、“公”(gōng)と“母”(mǔ)を用いるが、ネコの雄のように、一部の動物には“郎”(láng)が使われることもある。動物園は“动物园”(dòngwùyuán)、旧時は“万牲园”(wànshēngyuán)とも称した。()内は“只”以外の主な助数詞を示す。

いくつわかりますか？

以下はおよその目安です。

全部	40語以上	30語以上	20語以上
2級以上	3級レベル	4級レベル	準4級レベル

- | | | |
|----------------------------------|--------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 象 | xiàng | ゾウ。通称“大象”(dàxiàng)。(头) |
| <input type="checkbox"/> 2. 獅子 | shīzi | ライオン。(头) |
| <input type="checkbox"/> 3. 虎 | hǔ | トラ。通称“老虎”(lǎohǔ)。(头) |
| <input type="checkbox"/> 4. 豹 | bào | ヒョウ。(头) |
| <input type="checkbox"/> 5. 河马 | hémǎ | カバ。(头) |
| <input type="checkbox"/> 6. 棕熊 | zōngxióng | ヒグマ。(头) |
| <input type="checkbox"/> 7. 北极熊 | běijíxióng | ホッキョクグマ。(头) |
| <input type="checkbox"/> 8. 大熊猫 | dàxióngmāo | パンダ；ジャイアントパンダ。 |
| <input type="checkbox"/> 9. 小熊猫 | xiǎoxióngmāo | レッサーパンダ。 |
| <input type="checkbox"/> 10. 考拉 | kǎolā | コアラ。 |
| <input type="checkbox"/> 11. 狐狸 | húli | キツネ。 |
| <input type="checkbox"/> 12. 貉子 | háozǐ | タヌキ。 |
| <input type="checkbox"/> 13. 貂 | diāo | テン。 |
| <input type="checkbox"/> 14. 紫貂 | zǐdiāo | クロテン。 |
| <input type="checkbox"/> 15. 黄鼠狼 | huángshǔláng | イタチ。 |
| <input type="checkbox"/> 16. 猴 | hóu | サル。通称“猴子”(hóuzi)。 |
| <input type="checkbox"/> 17. 金丝猴 | jīnsīhóu | コバナテングザル、金子猴(きんしこう)。 |
| <input type="checkbox"/> 18. 长臂猿 | chángbìyuán | テナガザル。 |
| <input type="checkbox"/> 19. 猩猩 | xīngxing | オランウータン、猩々(しょうじょう)。(头) |
| <input type="checkbox"/> 20. 大猩猩 | dàxingxing | ゴリラ。(头) |
| <input type="checkbox"/> 21. 黑猩猩 | hēixīngxing | チンパンジー。(头) |
| <input type="checkbox"/> 22. 马 | mǎ | ウマ。(匹) |

<input type="checkbox"/> 23. 斑马	bānmǎ	シマウマ。(匹)
<input type="checkbox"/> 24. 驴	lú	ロバ。(头)(条)
<input type="checkbox"/> 25. 骡子	luózi	ラバ。(匹)(头)
<input type="checkbox"/> 26. 牛	niú	ウシ。(头)
<input type="checkbox"/> 27. 公牛	gōngniú	雄ウシ。(头)
<input type="checkbox"/> 28. 奶牛	nǎiniú	乳牛。(头)
<input type="checkbox"/> 29. 水牛	shuǐniú	水牛。(头)
<input type="checkbox"/> 30. 牦牛	máoniú	ヤク。(头)
<input type="checkbox"/> 31. 犀	xī	サイ。通称“犀牛”(xīniú)。(头)
<input type="checkbox"/> 32. 骆驼	luòtuó	ラクダ。(匹)(峰)
<input type="checkbox"/> 33. 单峰骆驼	dānfēng luòtuó	ヒトコブラクダ。(匹)(峰)
<input type="checkbox"/> 34. 双峰骆驼	shuāngfēng luòtuó	フタコブラクダ。(匹)(峰)
<input type="checkbox"/> 35. 猪	zhū	ブタ。(口)(头)
<input type="checkbox"/> 36. 野猪	yězhū	イノシシ。(口)(头)
<input type="checkbox"/> 37. 羊	yáng	ヒツジ。(头)
<input type="checkbox"/> 38. 绵羊	miányáng	ヒツジ, メンヨウ。(头)
<input type="checkbox"/> 39. 山羊	shānyáng	ヤギ。(头)
<input type="checkbox"/> 40. 狗	gǒu	イヌ。(条)
<input type="checkbox"/> 41. 虎头狗	hǔtóugǒu	ブルドッグ。(条)(头)
<input type="checkbox"/> 42. 哈巴狗	hābagǒu	チン。(条)
<input type="checkbox"/> 43. 狼狗	lánggǒu	シェパード。(条)(头)
<input type="checkbox"/> 44. 狼	láng	オオカミ。(条)
<input type="checkbox"/> 45. 猫	māo	ネコ。
<input type="checkbox"/> 46. 豹猫	bàomāo	ヤマネコ。“山猫”(shānmāo)とも。
<input type="checkbox"/> 47. 兔子	tùzi	ウサギ。
<input type="checkbox"/> 48. 老鼠	lǎoshǔ	ネズミ。
<input type="checkbox"/> 49. 仓鼠	cāngshǔ	ハムスター。
<input type="checkbox"/> 50. 刺猬	cìwèi	ハリネズミ。
<input type="checkbox"/> 51. 松鼠	sōngshǔ	リス。
<input type="checkbox"/> 52. 袋鼠	dàishǔ	カンガルー。
<input type="checkbox"/> 53. 鹿	lù	シカ。
<input type="checkbox"/> 54. 长颈鹿	chángjǐnglù	キリン。
<input type="checkbox"/> 55. 鲸	jīng	クジラ。通称“鲸鱼”(jīngyú)。(条)
<input type="checkbox"/> 56. 抹香鲸	mòxiāngjīng	マッコウクジラ。(条)
<input type="checkbox"/> 57. 海豹	hǎibào	アザラシ。
<input type="checkbox"/> 58. 海豚	hǎitún	イルカ。
<input type="checkbox"/> 59. 海狮	hǎishī	アシカ。
<input type="checkbox"/> 60. 蝙蝠	biānfú	コウモリ。

絵で見る慣用語(8)

絵・張恢

文・『中国語の環』編集室



骂大街 mà dàjiē

屋外で大声でののしって近所の人に訴える；大勢の前でやたらと悪口を言う。単に“骂街”とも。

骂了半天街。外でさんざんわめきたてた。



满堂红 mǎntánghóng

全面的に勝利すること、すべてが首尾よく運ぶこと。“满堂红”は、もとお祝い事の際に広間に掲げた色とりどりの絹を張った灯籠や燭台。



没头脑 méi tóunǎo

思慮が浅く頭がぼんやりしている；考えがあまりに単純すぎる。頭が悪い。做那样的事，真是太没头脑了！あんな事をするなんて、まったくばかげている。



卖关子 mài guānzi

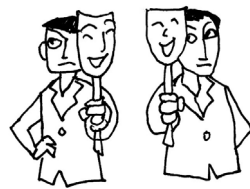
もったいぶる、思わせぶりをする。もと、講釈師が話の山場でやめ、聞き手の興味を次回につなぐこと。

不要卖关子，快说吧！もったいぶらないで、早く話さないよ。



眉毛胡子一把抓 méimáo húzi yī bǎ zhuā

眉毛とひげとをいっぺんにつかむ；みそもくそもいっしょくたにする。物事の軽重・順序を考えずに十把（じっば）一からげに扱う。



面和心不和 miàn hé xīn bù hé

表面は仲良さそうにしているが、内心はそうではない；双方の外面と内面が異なっている。

他们俩是面和心不和。あのふたりは心のうちではいがみあっている。



摸着石头过河 mōzhe shítou guò hé
 石を探りながら川を渡る；手探りしながら慎重に事を行う。
 他做事，总是摸着石头过河。彼の仕事ぶりは，常に手堅く慎重そのものである。



莫须有 mòxūyǒu
 ありもしない。『宋史・岳飛伝』に見える秦檜の語で，もとの意味は，「あるかもしれない」であるが，転じて“莫须有的罪名”（でっちあげの罪名）のように使われる。



捏一把汗 niē yī bǎ hàn
 手に汗を握る；極度に緊張するたとえ。はらはらする。“捏一把冷汗”とも。
 捏着一把汗看热闹。はらはらどきどきしながら見物する。



磨洋工 mó yángōng
 わざと時間を引き延ばして，だらだらと仕事をする；仕事を怠ける，サボタージュする。
 不要磨洋工，好好儿干！怠けていないで，まじめにやるんだ。



哪阵风吹来了 nǎ zhèn fēng chuī lái le
 どういう風の吹き回しでここに来たのか。めったに会えない珍しい客が訪ねてきた時などに使う。“哪阵风”は“什么风”とも。



牛头不对马嘴 niútóu bù duì mǎzǔǐ
 牛の顔は馬の口と合わない；問いと答えがかみあわないこと，話のつじつまが合わないことのとえ。
 他回答得简直是牛头不对马嘴。彼の答えはまるでピント外れだ。

“开始V”と“V起来”

日本中国語検定協会理事・文京学院大学 魯 晁珉

“开始”と“起来”はいずれも動作や変化の開始を表すことができます。そのため“开始V”と“V起来”（Vには形容詞も含まれている）は相互に置き換え可能な場合が多くあります。

(1) a 妹妹又开始哭了。(妹はまた泣き始めた。)

b 妹妹又哭起来了。(妹はまた泣きだした。)

(2) a 天气开始冷了。(寒くなり始めた。)

b 天气冷起来了。(寒くなり始めた。)

しかし(1)(2)の“V”の前に異なる修飾語を加えると、両者の違いが現れてきます。

(3) a 妹妹从早上就开始哭。(* 起来)

(妹は朝からもう泣き始めた。)

b 妹妹哇地一声哭起来。(* 开始)

(妹はワーッと泣き出した。)

(4) a 北海道的天气从10月就开始冷了。(* 起来)

(北海道の天候は10月から寒くなり始める。)

b 最近一下子就冷起来了。(* 开始)

(最近急に寒くなりました。)

例(3) a(4) a では、“V”の前に開始時間が入っており、(3) b(4) b では、“V”の前に“V”の急展開を示す修飾語が入っていることにより、“开始V”と“V起来”が互換できなくなりました。これはなぜなのでしょう。

“开始”は動作や変化の起点に焦点を当てる表現であるに対し、“起来”は動作や変化の起点からの展開に焦点を当てる表現です。そのため、“从早上”“从10月”のような“V”の起点を示す時間を表す語句は「起点に焦点を当てる」“开始”と相性がよく、共起できます。一方、“哇地一声”“一下子”のような“V”の急展開を示す様態描写は「起点からの展開に焦点を当てる」“起来”と相性がよく、共起できます。逆にすることはできません。

例(3) a(4) a では起点を示すのは時間を表す語句でしたが、起点を示す表現は必ずしも時間語句とは限りません。例えば、

(5) 我坐的火车从始发站就开始晚点。(* 起来)

(私が乗った電車は始発駅からすでに遅れています。)

(6) 请你从一开始数，一直数到一千。(* 起来)

(一から千まで数えてください。)

例(5)では、“始发站”で場所の起点を示して、(6)では数字“一”で、範囲の起点を示しています。

(3)b(4)bでは“V”の前に“V”の急展開を示すという様態描写の修飾語が入っていますが、“V”の静的な様態描写もこれに当てはまります。例えば、

(7)她马上妩媚地笑起来。(* 开始)

(彼女はすぐ可愛らしく笑い出した。)

“起来”を用いる場合では、“V”は起点から展開していく過程があるため、“妩媚地”のような静的な様態描写をする修飾語とも共起できます。

“开始”と“起来”の意味上における違いは共起できる動詞の種類からも証明できます。(1)~(7)で見られたように“开始”と“起来”は両方とも 継続動詞および形容詞と共起できます。しかし、“开始”は“存在”“在”“有”などの存在動詞，“觉得”“懂得”“觉察”などの認知動詞とも共起できます。例えば、

(8)我星期天回去，下星期以后开始在家。(* 起来)

(私は日曜日に戻るので、月曜日以降は家にいます。)

(9)这个孩子已经开始懂得一些大人的事了。(* 起来)

(この子も少し大人の事情を分かり始めていた。)

存在動詞と認知動詞は静的な状態を表すので、「なかった」状態から「ある」状態に変わる起始点があるが、動作の展開という段階がないため、“开始”とは共起できるに対して、“起来”とは共起できません。

なお、“开始V起来”のように両者が同一文中に用いられる場合もあります。これは二つのケースに分けられます。

一つは“V”の前に「起点を示す修飾語」と「様態を描写する修飾語」のどちらも入っていないケースです。実は例(1)(2)下記のように言うこともできます。

(1)c 妹妹又开始哭起来了。

(2)c 天气开始冷起来了。

もう一つは一つ目と正反対で、“V”の前に「起始点を示す修飾語」と「様態を描写する修飾語」は両方とも入っているケースです。

(10) a 她十九岁的时候就开始写小说了。(* 起来)

(彼女は19歳で小説を書き始めた。)

b 她也像姐姐一样写起小说来了。(* 开始)

(彼女も姉のように小説を書き始めた。)

c 她十九岁的时候也像姐姐一样开始写起小说来了。

(彼女も19歳で姉のように小説を書き始めた。)

例(10)cは起始点である“十九岁的时候”と様態描写である“像姐姐一样”が両方とも入っているため、“开始”、“起来”が同時に使えるわけです。

是非とも“很多人都开始学起汉语来了”“参加中检考试的人从今年开始一下子就多起来了”という表現が使えるようになってほしいです。

参考文献

朱繼征 (2004) 中国語の起動相について—“开始~”と“起来~”の文法的使い分けと意味的分析を中心に、『中国語学』第251号

2015年度に出題された成語

『中国語の環』編集室

2015年度の2級、準1級、1級の筆記試験に出題された成語のなかから主なものを拾ってみた。級と試験回は、2級第86回（2015年6月）⇒2-86のように示した。

落花流水 luòhuā-liúshuǐ 2-86

散り落ちた花が流れに従って去る；もと、行く春の景色の形容。のち、大敗を喫する比喩。無惨に打ちのめされる。さんざんな目に遭う。

昨天的比赛，乙队不是甲队的对手，被打得落花流水。昨日の試合は乙チームは甲チームの敵ではなく、こてんぱんにやられた。

家常便饭 jiācháng-biànfàn 2-86

家庭での日常の食事；日常よく起こるありふれた出来事。日常茶飯事。

对我来说，夜里一、两点钟睡觉简直就是家常便饭。私にとって、夜の1時2時に寝るのは少しも珍しくはない。

大手大脚 dàshǒu-dàjiǎo 2-88

金遣いが荒く、物を大切にしないさま。

父母工作忙，忽视了对他的教育，使他养成了大手大脚的习惯。両親は仕事が忙しく、彼の教育をないがしろにしたため、彼に浪費癖をつけた。

别有用心 biéyǒu-yòngxīn 2-88

他に考えるところがある；下心を抱いている。胸に一物（いちもつ）あり。

大家都看得出来，他这样做是别有用心。彼がこのようにするのは下心あつてのことと、皆は見抜いている。

班门弄斧 bānmén-nòngfǔ 準1-86

魯班の門前で手斧（ておの）を振り回す；専門家の前で才能をひけらかす。釈迦（しゃか）に説法。身の程知らず。魯班は春秋時代の有名な工匠。

竟敢在国画大师面前高谈国画，你这不是班门弄斧吗？中国画的大家的前面中国话について弁説を振るうとは、君は身の程知らずもいいとこじゃないか。

一见如故 yìjiàn-rúgù 準1-86

初対面だが旧知さながらである；一度会っただけで昔からの友達のように打ち解けること。“故”は旧友，親友。

我们在海南岛相遇，一见如故，结为了生死不渝的朋友。私たちは海南島で出会い、初対面なのに意気投合し、終生変わることのない友情を結んだ。

开门见山 kāimén-jiànshān 準1-87

ずばり本題に入る；単刀直入に話す。

这篇文章写得很好，开门见山，主题突出。この文章はとてもよく書けており、単刀直入で、テーマがはっきりしている。

人云亦云 rényún-yìyún

準 1-87

人がこう言えば自分もこう言う；定見がなく主体性を欠く。むやみに他人の意見に同調する。付和雷同。

你们这伙人在这里可都是人云亦云啊！あなたたちときたら、ここではまるで人の言いなりですね。

投机取巧 tóujī-qǔqiǎo

準 1-87

機を見て上手に立ち回る；勞せずしてうまい汁を吸おうとする。

他在我们公司最会投机取巧了，谁也比不了。彼はわが社で機を見て立ち回るのが最も得意で、誰もかなわない。

直截了当 zhíjié-liǎodàng

準 1-88

単刀直入である；(あれこれ持って回らず) そのものずばりである。

他对这个问题有不同于别人的独到见解，在会上直截了当地说出了自己的意见。彼はこの問題について人とは異なる独自の見解を有していて、会議の席上、率直に自分の意見を述べた。

入木三分 rùmù-sānfēn

準 1-88

板に三分も染み込む；筆勢が鋭いたとえ。また、議論が鋭いたとえ。晋の王羲之は筆の勢いがきわめて鋭く、墨が板に三分も染み込んだという故事から。

这篇小说对当前的社会现象和人们的心理状态做了入木三分的刻画。この小説は、目の前の社会現象と人々の心理状態に対して深い洞察力を備えた描写を行なっている。

与时俱进 yǔshí-jùjìn

1-87

時代とともに発展し続ける。

他们始终坚持与时俱进、开拓创新的原则，不断研制出新产品。彼らは時代とともに発展し、開拓創造するという原則を一貫して堅持し、絶えず新製品を開発している。

一蹴而就 yīcù'érjiù

1-87

一步踏み出しただけで成功する；容易に成し遂げることができる。一挙にして成る。

民主制度的建立需要一个循序渐进的过程，不可能一蹴而就。民主制度の構築には順を追って一步一步進む過程が必要で、一挙に成し遂げられるものではない。

望其项背 wàngqíxiàngbèi

1-87

後ろ姿を見て並び進むことができる。“项背”は「首筋と背中」。

作为一个业余作家，他取得了许多专业作家也难以望其项背的成就。アマチュアの作家として、彼は多くのプロの作家の追隨を許さないほどの成功を収めた。

欢欣鼓舞 huānxīn-gǔwǔ

1-87

喜んで躍り上がる；小躍りして喜ぶ。欣喜雀躍(きんきじゃくやく)する。

最近很少能听到什么令人感到欢欣鼓舞的好消息。近頃は小躍りして喜びたくなるような良いニュースには、めったに出会えない。

「…さん」に相当する中国語の呼称は？

日本中国語検定協会評議員・共立女子大学 李錚強

「…さん」という日本語の呼称はとても便利だ。相手の年齢にも性別にもあまり関係なく使えるからである。中国語の呼称は前回にも触れたように複雑で、その用い方も多種多様であるため、日本語の感覚をそのまま持ち込んではいけぬ。

中国人の間では基本的に仕事関係とプライベートな関係においては、それぞれ異なる呼び方を用いる。仕事関係の場合、同僚の間ではよく“老赵”“小周”のように、“老…”“小…”の呼び方を用いる。“老…”と呼ばれるほうが年上だが、呼ぶほうより何歳以上でないと呼べないというような決まりはない。立場的に目上の人に対しては、“老…”を使うのが適切であろう。一方、職場で若者に対して“小”を付けるのも一般的な呼びかけである。呼ばれる人が呼ぶほうより年が若い場合はもちろんだが、若者同士の間でも使われる。日本語の「…君」と同じように、職場で使うと親しみがある感じもする。

ただし、この“老…”“小…”は、1文字・1音節の苗字と組み合わせて用い、“老刘”“小吴”のように合計2文字・2音節の呼びかけ語にならないと安定感が失われてしまう。中国でこの呼び方が定着したのは中国人の苗字がほとんど1文字・1音節だからである。しかし、この呼び方は中国社会に溶け込んでいる日本人に対しては一概に通用するとは言い切れない。例えば、「原さん」という1文字の苗字の人は“老原”または“小原”のように呼ばれることはあり得るが、「伊藤さん」「渡辺さん」のような2文字の苗字の場合、“老伊藤”“小渡辺”のように3文字になってしまい、音声上のバランスが崩れてしまうので、通常用いられない。

以上のような理由で、2文字の苗字が圧倒的に多い日本人に対しては、滅多に“老…”“小…”という呼び方を使わず、親しい中国人の同僚からは“伊藤”“渡辺”のように苗字だけで呼ばれるのが一般的である。しかし、そう呼ばれたからと言って、呼ぶほうに日本語の呼び捨てという感覚があるわけでは、決してない。

次に、プライベートな関係の場合、親族関係や友達関係においては“老…”“小…”の代わりに苗字抜きで名前だけで呼ぶのが一般的である。例えば、“张丽华”という人物に対しては家族や友人は、“丽华”と呼ぶほうが親しみが感じられる。今は苗字1文字、名前2文字、合計3文字という中国人のフルネームがもっとも多いが、改革開放直後の1980年代から1990年代までは1文字の命名が流行したため、現在“黄丹”、“陈勇”のように苗字と名前を合わせて2文字のフルネームをもつ20代ないし30代の若者が多い。このような若者に対しては、親しい友人や家族も“黄丹”、“陈勇”のようにフルネームのまま呼んでいる。場合によっては、“小丹”“大勇”のように名前の前に“小”または“大”を付して愛称で呼ぶこともあるが、いずれにせよ、プライベートな関係においても、通常は2文字2音節が用いられる。

異文化と多様性 一目白大学中国語学科の取り組み—

目白大学 中国語学科講師 伊藤 大輔

異文化コミュニケーションの最前線

「この表現はどういう場面で使うの？」

「“一只狗”と“一条狗”，どっちを使う？」

「“买到了”と“买好了”って何が違うの？」

いずれもある日の授業で的一幕である。目白大学中国語学科は全学年合わせて在籍者が100名に満たない小規模な学科であるが、その内訳は実に多種多様で、国籍もまちまちなら中国語あるいは日本語の運用能力もさまざまである。その中には、中国語母語話者やそれに近い中国語運用能力を持ちつつ日本語をも操るバイリンガル学生がいる。そんな彼らに、教員はときおり上のような質問を投げかける。個人的な習慣や出身地の違いによるのか、彼ら同士の間で意見が割れ、互いに一步も譲らずいささか不穏な空気が流れることもしばしばである。そうして結局何が正解なのかあやふやなまま終わることも少なくない。だが、まさにこれこそが「切れば血が出るような」中国語や中国語話者のリアルな実態ではないか！教科書が複雑な現実を単純化して説明するのは仕方のないことだが、その説明がいささか実態とかけ離れている嫌いはないだろうか？

本学科は、中国語の習得と同時に、中国語を学ぶことを通して中国理解を深め、またそれを通して異文化コミュニケーションの方法を学ぶことを目標としている。上述のような環境は、その目標を達成する上で非常に有益であると考えている。まず、授業やその他の場において中国語や中国事情に関する課題を与えることは、日本語話者である学生が同じクラスにいるバイリンガル学生とコミュニケーションを取るための大きな動機となり得る。次に、バイリンガル学生の側は、それによって相手がどのような点に興味を持ち疑問を覚えるのかということを知ることになる。さらに、両者はそうしたプロセスを通じ、同じ言語を用い同じ文化に属する人たちであっても実際には多種多様な背景を持った人が含まれており、「日本人」や「中国人」などと括ることによって見えなくなることも多いと気付くことになる。それをきっかけとして、身近な人を含めた他者ひとりひとりの立場を広い意味での「異文化」として尊重し、それらとうまく付き合っていく能力を養って欲しい。これが本学科の究極的な目標であり、学科教員の願いである。

小規模学科の強み

ここで学科のカリキュラムについて紹介したい。学科独自の科目は、中国語の運用能力を身に付け磨く「中国言語」科目群と、中国語圏の諸事情に関する知識を得る「中国事情」科目群の2本柱からなる。

「中国言語」科目群は、1～2年次においては週6コマ開講される必修科目が根

幹をなし、発音から文法や会話表現に至るまで、それぞれ基礎より段階を踏んで学んでいく（ただし既習者やバイリンガル学生にも配慮し、一部に能力別のクラス編成を取り入れている）。3年次以降はより応用的・実践的な内容となり、通訳案内士試験や中国語検定といった資格・検定試験への対策に特に力を入れている。

一方、「中国事情」科目群は、2年次以降に開講される科目が主体となっている。「中国言語」が異文化を理解するための道具としての語学であるのに対し、こちらはいわば「異文化そのもの」に取り組む科目群である。同科目群の内容は、文化や文学、歴史から政治経済等からなり、あらゆる切り口から中国語圏を「異文化」として理解することを目指している。

先に述べた通り、本学科は小規模な学科である。そのため、科目の種別を問わず、比較的少人数のクラスできめ細かい指導が可能である点が最大の強みである。

留学制度

異文化を理解する上で、留学が最も有効な方法のひとつである点は疑いないだろう。本学科では、中国語圏での留学を卒業要件として義務付けている。具体的には、毎年夏休みおよび春休みの期間中に開かれる4週間の短期留学プログラム（北京と台北の2箇所から1箇所を選択）に参加するか、北京、天津、上海、太原、台北および台南の計6箇所の協定校に半年～1年の長期留学に赴くことにより、初めて卒業可能となるカリキュラム編成になっている。

留学を全員に義務化することについては、費用の面などで異論の余地もあろうかと思われるが、それが学生のモチベーション向上に繋がっている点は見逃せない。これまでに、出発前にはお世辞にも中国語学習に熱心だと言えなかった学生が、現地で何らかの刺激を受けて帰国し、その後見違えるような意欲を見せるようになった例をいくつも見てきた。中には1度目の留学が引き金となって2度目3度目の留学に赴く者もあり、いろいろな学生がいるものだと改めて感心させられる。

卒業後を見据えて

在籍者が少ない本学科では、学生と教員の距離が非常に近い。また、教員同士は学生について頻繁に連絡し合っている。その結果、全教員が全学科生の顔と名前を覚えているばかりか、学生ひとりひとりの個性や生活習慣についても一定の情報を得ている。それが強みを発揮するのが進路指導である。3年次に入り、就職活動が徐々に本格化してくる時期になると、複数の教員が学生の個性に応じた様々なアドバイスを与えている。その甲斐あってか、本学科は2013年度卒業生より3年連続で内定率100%を達成している。内定先は製造業やサービス業、不動産業から金融機関に至るまで多種多様であるが、旅行会社や免税店など、中国語需要の急速な高まりを感じさせる業界への就職が近年増えている点は注目に値する。

小規模ながら多様性溢れる学科で異文化コミュニケーションに親しんだ経験は、グローバル化の進む現代社会において大いに役立つに違いない。社会で活躍し奮闘する卒業生の姿を見るたびに、その確信を新たにする。